

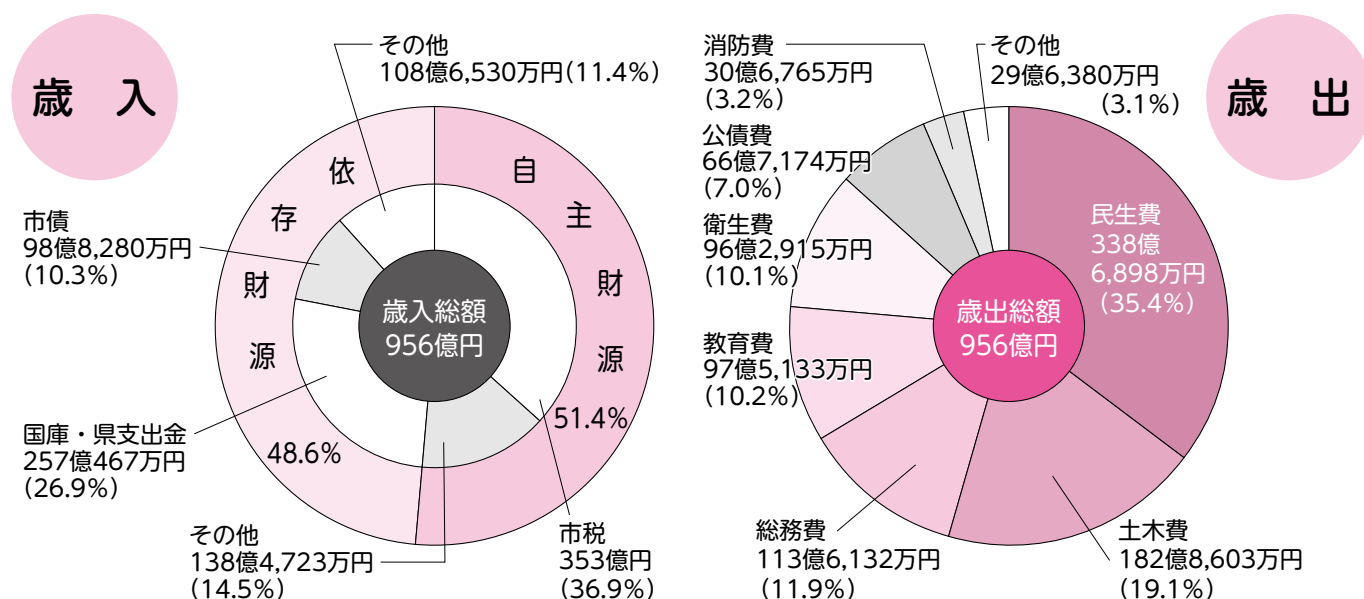
令和7年度予算を可決しました!

総額1,658億1,300万円

一般会計

一般会計は、市民税などの市税を主な財源として、道路や学校の整備、福祉やごみの処理などの事業を行うための会計です。

令和7年度予算額	令和6年度予算額	比較増減	増減率
956 億円	879 億 6,000 万円	76 億 4,000 万円	8.7%



一般会計予算決算委員会での主な質疑

問 令和7年度予算における歳入歳出全体の特徴は。

答 令和6年度と比べ、歳入については、景気の回復基調に伴う市民税の増やふるさと応援基金繰入金の増などにより、自主財源が約31億8,000万円の増額となっている。また、歳出については、消費的経費について、物件費がGIGAスクール構想に基づき整備したタブレットの更新に伴う情報機器整備事業費の増や、ふるさと納税の返礼品に係る経費の増などにより約12億9,000万円の増額、扶助費が国の制度改正に伴う児童手当に係る経費の増や、障がいのある人の自立支援等に係る経費の増などにより約28億6,000万円の増額、補

助費が病院事業会計繰出金の増や、企業立地促進事業費の増などにより約12億3,000万円の増額となっている。投資的経費については、良好な都市環境の創出に向けた市街地再開発事業への支援に係る増、総合的治水対策など風水害への対策強化に係る増、教育環境の充実を図るための校舎の建て替えに係る増などにより、約15億2,000万円の増額するものである。

問 防災資機材整備事業の内容は。

答 能登半島地震において必要性が再確認された災害用トイレ処理セットや毛布、ワンタッチパーティションなどを整備するほか、避難所外避難

者への支援品を整備するものである。

問 病院事業会計繰出金を増額する理由は。

答 経営を支援するため国が定める繰出基準に基づき、必要と認める額を繰り出しているが、令和7年度当初予算においては入院患者数が減少傾向にあることに加え、令和6年度当初予算及び補正予算における繰出金による経営支援の状況を踏まえて必要額を精査し、24億円を繰り出すものである。

問 高校生向け起業マインド創出事業の内容は。

答 若者世代のまちづくりへの関心を高め、市内就職を促

進するとともに、創業気運を醸成することを目的に、セミナーなどを開催するものである。これにより、高校生が様々な産業と交流し、様々な社会課題と触れ合うことで、働くことや経済の仕組み、地域社会との関わりを学ぶ機会が得られるとともに、起業に必要なビジネスプランニングやプレゼン手法などの習得が図られるものである。

問 ストリートスポーツパーク拡張整備工事の内容は。

答 これまでの利用実態を踏まえ、現施設の西側に、新たに子ども用のスポーツエリアや人工芝のファミリーエリアなどを整備するとともに、駐車場の整備を行うものである。